

## (別紙)

様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会 (第1回)
開 催 日 時	令和5年8月29日(火) 16時30分 開会 17時41分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場庁舎2階 第2会議室
出 席 者 氏 名	鹿野委員、漆原委員、酒井委員、山本委員、村田委員、岩本委員 岩堀委員、福田委員
欠 席 者 氏 名	伊藤委員、信太委員
事務局職員職氏名	那須総務部長、竹下地方創生担当主幹 政策統計グループ 稲場主査、山口主事
議 題	1 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 2 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総合戦略」 の改訂について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	資 料 1 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況 資 料 2 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総 合戦略」改訂内容 資 料 3 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総 合戦略」 当日資料 就職件数・求職件数・収入金額別給与収入者数調べ
会 議 録 の 作 成 方 針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音データを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音データを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田会長	<p>【開会】</p> <p>これより、令和5年度第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催いたします。</p> <p>今日、議題としては2つありますので、それを聞きながら、皆さんご意見をよろしくお願ひします。本日は、信太委員と伊藤委員から欠席の連絡をいただいております、8名での開催となります。</p> <p>前回、参加できなかった福田委員が今回参加されておりますので、自己紹介含めて一言お願ひいたします。</p>
福田委員	<p>一般公募でこちらの委員をさせていただくことになりました、福田春美と申します。</p> <p>町内で2人の娘を育てております。上が小学校1年生、下が3歳の娘です。上の子の出産を機に仕事を退職しまして、それ以来、専業主婦をしております。出身が美幌町で、進学や就職などでしばらく離れていた時期もあったのですが、30代前半の頃、Uターンという形で戻ってまいりまして、子供の頃賑やかだった町が、だんだん寂しい印象になっていることが気がかりで過ごしております。</p> <p>この機会に、自分も少し勉強させていただいて、何か女性として子育て世代の声を届ける等、お役に立てればと思つて飛び込んでまいりました。本当に不慣れなもので、何か失礼なことや、状況がわかっていないような発言もあるかもしれませんが、お手柔らかにお願いできたらと思つております。どうぞよろしくお願ひします。</p>
村田会長	<p>ありがとうございます。それでは、議事に入ります。まず、事務局より皆さんの机の上にある資料のご説明をお願いします。</p>
稲場主査（事務局）	<p>それでは、私の方から確認をさせていただきます。資料1番、2番、3番、当日資料を配付しておりますが、資料の1番に関しまして、一部訂正がございました。訂正箇所を朱書きにしてあるものを、本日配付しておりますので、そちらをお使いいただければと思ひます。資料2番に関しましては、今回の議題の（2）美幌版総合戦略の改訂についての資料となります。資料3番が改訂内容を入れ込んだものとなっております。</p> <p>皆様、お手元に資料はございますでしょうか。また、当日資料ということで、本日改めてお配りしたのも使いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
村田会長	<p>皆さん、資料は揃っていますね。それでは、議題の1番目、第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
稲場主査（事務局）	<p>資料1番に基づいて、ご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、総合戦略についてですが、平成26年に、まち・ひと・しごと創生法というものが国で制定されまして、それに伴い、地方の人口減少に歯止めをかけること、都市部から人口を地方に動かせるということから、平成26年の法律制定に伴い、美幌町はまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定したところでございます。</p> <p>この総合戦略に関しましては第2期となりますが、第2期の進捗状況を今回報告させていただきます。</p>

<議題（１）第２期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について>

資料１をご覧ください。

総合戦略に記載されている数値目標・KPI の進捗状況をまとめた資料となっております。

○基本目標１

まず、基本目標１「地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる」に関する数値目標とKPIの進捗でございます。

数値目標は新規求人数と200万円を超える給与収入者数となっており、前回、3月に開催された委員会の際に、山本委員より「求人を出してどれだけ雇用が来ているのか把握することが必要ではないか」というご意見をいただきました。また、村田会長より「200万円以下の給与収入者の統計データも必要ではないか」とご意見をいただきました。

そちらの数字も当日資料として配布しましたので、併せてご説明させていただきます。

【新規求人数】

まず新規求人数ですが、令和4年度の実績は1,393人となり、数値目標である1,100人を上回る数値となりました。

当日資料をご覧ください。令和4年度は求人数1,393人に対し、新規求職申込者が579人、就職件数が207人となっております。

なお、求人を出している職種としては多いのは、医療、介護、建設、製造などの資格が必要な職業で、専門人材が求められている状況です。

【給与収入者数】

資料１にお戻りいただきまして、200万円を超える給与収入者数ですが、令和4年度は5,765人となり、こちらも数値目標5,600人を上回る実績となりました。

当日資料をご覧ください。令和4年度の給与収入者数の総数は7,522人でそのうち200万円を超える給与収入者数が5,765人、200万円以下の給与収入者数は1,757人となっております。

資料１にお戻りいただきまして、関連するKPIについてです。

【農業販売高】

農業販売高は令和4年度は147億円となり、数値目標128億円を上回る結果となりました。

【商工業販売高】

商工業販売高に訂正がありまして、令和3年度、令和4年度の実績が582億円になります。

【起業家件数】

起業家件数は令和4年度は2件となり、令和2年度からの累計値が8件となったため、令和6年度の数値目標である10件に向けて順調に推移をしている状況です。

なお、令和4年度に起業家支援事業を活用したのは「蘭奢待」、「肉と魚の匠」となっております。

【観光入込客数】

観光入込客数は883,037人となり、数値目標を大きく上回る結果となり

ました。要因としましては、道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠レストハウス1階を改修し、リニューアルオープンしたこと、また、新型コロナウイルスによる行動制限が解除したことが要因です。

**【宿泊者数】**

宿泊客数は美幌グランドホテルの廃業もあり、数値目標を大きく下回る状況が続いておりますが、本年、グランドホテル跡地に新たなホテルが開業となりますので、期待しているところです。

**○基本目標2**

続きまして、基本目標2「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」に関する数値目標とKPIの進捗でございます。

**【20代から40代の転出入の差】**

数値目標は20代から40代の転出入の差となっており、令和4年度の実績は転出入の差がマイナス62人となっており、目標の達成には至っていない状況となっております。

転出者の動向をみると、北見市や札幌市への転出が多く、進学や就職、転勤が要因と考えられます。

**【移住相談件数】**

関連するKPIについてですが、移住相談件数の実績は98件、累計で275件となり、数値目標を上回っております。

令和3年度から移住相談件数が増加しておりますが、要因としては、令和3年5月に移住定住特設サイト「びほろ暮らし」を開設し、本町の露出度が上がったことによるものと考えております。

令和4年度は移住相談が多少落ち着き、令和3年度と比較すると減少となっております。

**【体験移住施設の利用件数】**

体験移住施設の利用件数ですが、令和4年度は16件、累計で19件となりました。令和2、3年は新型コロナウイルスの影響もあり、施設の利用制限をかけていましたが、令和4年度から受付を再開し、順調な推移となっております。

**【事業を通じた移住件数】**

事業を通じた移住件数ですが、令和4年度は28件となり、累計で46件となりました。

令和6年度までの累計目標が70件なので、順調に推移している状況です。

UIJ ターン新規就業支援事業による移住者件数、地域おこし協力隊による体験ツアー参加をきっかけとした移住者件数は0名となっておりますが、移住定住に向けては時間を要するものですので、継続的にアプローチをしていきたいと思っております。

また、本年4月1日に移住相談拠点施設「KITEN」がオープンしましたので、「KITEN」を中心とした移住定住促進事業に取り組みます。

**【企業・政府関係機関の誘致件数】**

企業・政府関係機関の誘致件数は、令和4年度は0件でしたが、目標値を既に上回っている状況です。

先ほどお話をさせていただきました「KITEN」は、サテライトオフィスと

しての機能もありますので、KITEN の利用を通じた企業との関係性構築に取り組みます。

### ○基本目標 3

続きまして、基本目標 3 「このまちで出会い結婚し、子どもを生ま育てたいという希望をかなえる」に関する数値目標、KPI の進捗でございます。

#### 【合計特殊出生率】

数値目標は合計特殊出生率となっており、令和 4 年度の実績は 1.1 となっており、目標を下回っている状況です。

#### 【婚姻届出数、出生数】

KPI の進捗ですが、婚姻届出数、出生数ともに過去三年間で一番低い実績となりました。

合計特殊出生率の数値目標達成に向けて、出産支援、子育て支援、教育環境の充実に取り組み、本町で子どもを生ま育てたいという環境を整備しておりますが、基本目標 2 でもご説明させていただいたとおり、20 代から 40 代の子育て世代の人口が減少していることもあるため、移住定住の促進、未婚者の結婚促進や出産・子育て支援など、様々な分野の施策を継続的かつ効果的に実施することで改善に繋がると考えております。

#### 【(中学生) 学力調査の全国平均との差】

中学生の学力調査の全国平均との差ですが、基準値を下回る結果となりました。要因としましては、問題を読み解く誤解力や思考力が不足していることがあげられ、教育委員会としては

- ・学力向上に向け読書の大切さの啓蒙や読書好きな子を育成する取り組み
  - ・家庭における学習習慣を確立するための小中一貫した「家庭学習の指標」の作成と積極的な活用
  - ・教職員の授業力・指導力向上に向けた取り組みの更なる推進
- に取り組むとしております。

#### 【美幌高校入学者数】

美幌高校入学者数の実績は令和 4 年度は 67 名となり、過去三年間で一番多い人数となりましたが、令和 5 年度の入学者数は 46 名となっております。

入学者数の増加に向け、高校の魅力化等の施策について町も支援させていただき、取り組みを推進していければと考えております。

### ○基本目標 4

最後に基本目標 4 「住み続けたいと思える生活環境を整える」に関する数値目標、KPI の進捗でございます。

#### 【「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合】

数値目標は「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合、人口としており、「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合は 77.1%、目標値の 85%に到達できていない状況です。

このアンケートは、第 6 期総合計画後期基本計画の策定のため令和 3 年に実施したもので、今回は第 7 期総合計画策定時に実施予定です。

#### 【人口】

人口については、目標値 18,368 人に対して令和 4 年度で 17,9

	<p>30人となっており、目標値を下回っている状況です。</p> <p><b>【美幌高校の町内企業就職者数】</b>      関連する KPI ですが美幌高校の町内企業就職者数は目標値 20 人に対して令和 4 年度は 11 名となっており、目標値を下回っている状況です。      令和 4 年度は令和 3 年度と比べ、進学する人数が多かったことも一つの要因であると考えられます。</p> <p><b>【事業実施による雇用者数】</b>      事業実施による雇用者数は令和 4 年度は 22 人となり、過去 3 年間で一番多い人数となりました。目標達成に向け、引き続き取り組んで参ります。</p> <p><b>【若者世代（10代～30代）の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の思う人の割合】</b>      若者世代（10代から30代）の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と思う人の割合ですが、実績値に誤りがありまして、正しくは 78.6%でした。目標値に到達しておりませんが、次期アンケート時に「住みよい」と思っただけの割合が増えるよう、各種事業を実施して参ります。</p> <p><b>【自主防災組織の結成率】</b>      自主防災組織の結成率については、自主防災組織がある地域に住んでいる世帯数が減少したため、昨年度よりも減少しております。      町内自治会で自主防災組織が未設立の自治会もありますので、設立に向けた通知・案内など、防災意識の向上に向け取り組んで参ります。</p> <p>村田会長      事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問あればお伺いいたします。      私の方から 1 点。8月25日の伝書鳩に置戸高校のパンフレットがありまして、パンフレットを見ると様々な助成があつて、非常に町全体で力を入れているのではないかと感じました。他の高校はここまでやっていないと思いますし、ぜひ、美幌町もこういうものを参考にして人を増やす努力をしていただきたいなと思います。</p> <p>酒井委員      高校の話題が出ましたので、今の美幌高校の状況をお伝えしたいと思っております。3点にわたってお話させていただきます。      町外からの入学者は増加する見込みでございまして、心配になってくるのが、第1回目の時も少しお話ししましたが、遠隔者の居住場所の確保というのがかなり深刻な問題になっております。美幌町は、下宿など高校生を受け入れるところがないため、昨年度、町から本当に大きな支援をいただきまして、女子が住めることになりました。おかげさまで、今現在女子3名が生活することができています。報徳寮ですが、現在、男女あわせて13名が入寮しております。男子が10名、女子が3名です。3年生は男子1名ということになります。報徳寮の男子の定員が16名でございまして、現在、入寮を希望している、又は入寮しようか迷っている生徒が、11名おりまして、全員入寮すると4人、入寮できない生徒がでてくる状況となっております。現段階でのお話になりますが、入寮できない生徒が出そうだということがかんり深刻な問題となっております、教育委員会と連携しながら、町で高校生を受け入れてくれるようなところがないか探しているところですが、厳しい状況です。支援というお話もありましたが、町からもご支援をいただく場面がかんり具体的にあるのではないかなと思っておりますので、お話しさせていただきました。</p>
--	---

<p>村田会長</p>	<p>2点目は、地域との連携についてです。新聞でも報道していただきましたが、現在普通科で、未来探求ということで準備を進めております。これは、生徒が探求という手法を用いて地域の魅力を発見し、将来地元で活躍する人材を育成するという狙いがございます。これは、学校だけでは到底できるわけではございませんので、ぜひ地域の皆様のお力をお借りし、地域の皆様と共に、地域で活躍する人材を育成したいということで計画しております。お力添えをいただく場面もあろうかと思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>最後にもう1点ですが、資料にもありましたけども、ケンブリッジとの交流ということで、コロナが明け、今年2名の生徒が参加いたしました。1名は、佐呂間の農業のご子息と、もう1人は農業を学びたいと、東京から入学した生徒2名が参加しました。話を聞いたところ、「もう1回行きたい」「転校したい」というような感想で、非常に良い刺激を受けていて、また、2人だけではなくて、周りの生徒にもすごくいい影響を与えているので、これは本当に町からの支援というお話もありましたけども、こういう支援をいただきまして、感謝しているところでございます。</p> <p>少し長くなってしまいましたが、以上、ご報告いたしました。どうもありがとうございます。</p> <p>その他、皆さんからありませんか。</p> <p>それでは次に議題の2番目、第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総合戦略」の改訂について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>稲場主査（事務局）</p>	<p><b>&lt;議題（2）第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総合戦略」の改訂について&gt;</b></p> <p>続きまして、美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略「美幌版総合戦略」の改訂についてであります。</p> <p>この度の改正趣旨は、企業版ふるさと納税を活用した地方創生・人口減少対策に取り組むため掲載事業を追加し、また、令和4年度から人口減少対策、雇用対策に通じる事業を実施しているため、掲載事業として追加するものです。</p> <p>資料2と資料3に基づき説明をさせていただきます。資料3の37ページをお開きください。（2）滞在型観光の推進に「みどりの村再整備事業」を追加しました。こちらは、企業版ふるさと納税や地方創生各種交付金を活用してみどりの村全体の再整備を検討しており、具体的に令和6年度から着手したく掲載するものです。</p> <p>39ページをお開きください。中段の（1）移住の促進に「公共交通維持確保改善事業」を追加するものです。こちらは公共交通運転手確保に対する補助で、具体的には第2種免許の取得支援を行っており、移住定住の促進にも寄与するもので、追加いたします。なお、今年度、北見バスさんに東京から移住された方が就業しております。</p> <p>続いて下段の（1）企業・政府関係機関の誘致ですが、本年4月1日にワーキングスペース「KITEN」がオープンしたため、みどりの村休施設から名称を修正するものです。</p> <p>続いて45ページをお開きください。中段の（2）若者のUIJターンによる雇用促進に「公共交通維持確保改善事業」を追加するものです。事業内容は先ほどと同様のものとなっております。</p> <p>最後に下段の（1）若者のまちづくり活動の推進に「びほろっ子夢のチャレンジプロジェクト事業」を追加するものです。こちらも企業版ふるさと納税を活用した事業として令和6年度から実施予定なのですが、事業概</p>

	<p>要としては小中高生から将来の夢を叶えるために「今チャレンジしてみたいこと」を募集し、提案・発表内容を審査の上、選考された企画の実現を支援するものです。</p>
村田会長	<p>皆さんの方から何かご意見、ご質問はありますか。</p>
岩本委員	<p>新しくできましたKITENの現在の利用状況を教えてください。</p>
稲場主査（事務局）	<p>KITENですが、今年の4月1日にオープンして約4か月経過しております。利用状況ですが、月平均にして約500名程度ご利用いただいている状況となっております。その中には、町内の方ももちろん多くいらっしゃいますが、本州の方の利用もありまして、直近ですと、女満別空港のラウンジとして使われる方が増えてきており、本州のMRの方（製薬会社の営業）の利用が増えてきている状況となっております。</p> <p>先月のドロップイン利用と言いますか、イベントで利用された方ではなくて、単純にワーキングスペースとして利用された方々の割合でいきますと、道外利用者の方が半数を超えました。</p> <p>ですので、利用状況としましては、順調に推移をしているのではないかと考えております。</p>
村田会長	<p>KITENは行ったことがないのですが、皆さんは行ったことがありますか。少し心配だったのが、役場から少し距離が離れていて、行政経験がない方が運営しているということで、十分連絡を取っていただきたい。新しく新車も配置されたということで、その辺の連絡体制はきちんとやっていただきたいなと思います。</p>
稲場主査（事務局）	<p>ありがとうございます。現在の状況ですと、月に1回、月次報告会というのを行っております。月初めにKITENで、実際にどういう状況かというのを確認しており、「次はどういうことをやろうか」、「どういうイベントを打ち出していこうか」という打ち合わせを行っております。また、常々メッセージアプリで連絡を取り合いながら、我々政策課の職員も、KITENに週に、2、3回程度は足を運ぶようにしております。場所が遠いからこそ、連携は密に図っていかないといけないと思っておりますので、そこは十分にこれからも行っていきたいと考えております。</p>
村田会長	<p>その他、皆さんから何かありますか。</p>
福田委員	<p>進捗状況の基本目標3「この街で出会い結婚し、子供を生み育てたいという希望をかなえる」また、基本目標4の辺りが、私が思っていること、感じていることを言うべき分野なのかなと思っております。</p> <p>最初に私が自己紹介をさせていただいた時に、小学校1年生の娘がおりますというお話をしたのですが、その子供が平成28年度生まれです。平成28年度生まれのデータは、ここには載っていないのですが、おぼろげな記憶でしかないのですが、出生数が110～120人くらいいたような記憶があります。実際4月に小学校に入学した際に、様々な新聞だとか伝書鳩で美幌町内の1年生全員で90何名入学となっており、100人を切っております。それで、100人以上いたはずなのに、なぜこんなに減ってしまったのだろうというところがすごく引っかかっていました。出生数のデータももちろん大事で、令和4年度の69人というのはかなり危機的な状況だというのは誰もが考えていると思うのですが、それを追いかけていった時に、小学校入学時とか中学校入学時とかの子供の人数がとても気になるなど</p>



	<p>思っております。おそらくどうにかしたらそういうデータも出てくるのかなと思うのですが、令和4年度が69名ということで、理由は様々だと思います。親御さんの転勤ですとか。転勤族の世代の方は小さいお子さんがいらっしゃる方が多いので、どうしても仕方のない部分はあるとは思いますが、もしかしたら、何かの働きかけ次第で、美幌町内にとどまってもらうことができるかもしれないのではないかとというのはすごく思います。</p> <p>自分にとっては、ここの数字がとても気になるということと、この町で出会い結婚し、子供を生み育てるためには、小児科医と産婦人科はどうしても町にいてほしいです。2人目を出産するとき、短期間でしたが、国保病院に産婦人科の先生がいらっしゃった時がありまして、その時が非常に助かりました。上の子供もいて、自分が妊娠してっていう時に、北見まで行かなくていい、網走まで行かなくていい、美幌町内で済む。子供を生める設備がなくても、検診で、往復1時間～1時間半かけて行かなくていいということが、とても助かりました。なぜ、すぐいなくなってしまったのかなど。とても悲しかったのと、小児科の先生も2人いらっしゃったのが、現在は1人になってしまっており、その先生がお休みの場合は、どうしても北見まで行かなくちゃいけない、網走まで行かなくちゃいけない。行けばなんとかなるっていうのはあるとは思いますが、やはりこの町で育てたいっていうところにかなり直結してくるのかなと思っています。周りの同じ幼い子供を育てているお母さん方と話していても、小児科の先生が減ってしまった時はすごく寂しいねという話をしましたし、同じ時期に産婦人科の先生が美幌にいた時はとてもよかったねという話をします。もちろん、妊娠だけでなく、女性は更年期とかそういった症状で婦人科にかかるケースも大変多いですから。どのようにお医者さん呼び込んでいるのかは全くわからないので、本当に、世間話のようなレベルになってしまうのですが、お医者さんのことと、子供が入学する時に、減ってしまうのは、なぜだろうというところが気になったので、お話ししました。</p>
竹下主幹（事務局）	<p>基本目標2のところの数値目標に20代から40代の転入転出の差があります。令和4年度実績でいきますと、転出の方が62名多いという状況になっております。20代から40代の方の転出が多くなるということは、ご家族であれば、お子さんも一緒に転出していくという状況がありますので、様々な背景があると思いますが、まずは転出を食い止めていくということが、出生から小学校1年生までの差を埋めることになると考えています。実際このマイナスの数字が目立っているところもありますので、呼び込むということも含めて、転出だけでなく転入の方も努力していかないとはいけません。思っております。</p> <p>医療につきましては、アンケートを取りますと、やはり今ご意見があったように、産婦人科のご要望というのはとても多いというのは承知しております。今現状産婦人科がないというのが事実ですので、出産のサポートなどのソフト事業でなんとか少しでもご不便をおかけしないようにしておりますけれども、引き続きそちらについては要望していきたいと思っております。決して、なくてもいいと思っているわけではございませんのでご理解いただければと思います。</p>
那須部長（事務局）	<p>合計特殊出生率が1.1というのはおそらく過去最低くらいではないかと思えます。昔は出生数が100人超えるのが普通でしたが、今は69人ということで、人口が増えていくには、特殊出生率が2.2を超えないと増えていけない、確か2.07とか、そのくらいないとプラスにはなっていないというのがあるので、それが今は1.1ということで、確実にこの先減っていつ</p>

<p>福田委員</p>	<p>てしまうということです。原因までは追求できておりませんが、例えば、コロナというのも非常に大きな要因の1つなのかなと。出歩いたらだめ、人と会うのもだめというなかで、出会いが中々無いという要因も、1つにはあるのかなと思っておりませんが、それにしても低すぎるとしております。経済的な要因なのか、それ以外の要因なのかというのがあるかと思うのですが、おそらく、これは美幌町だけの問題ではなくて、全国的にもこういったことがあると思います。プラスになるようなことを政策としては、考えていく必要があるのだろうなと思っておりますが、即効的なものというのはなかなか、見つかっておりません。何かありますでしょうか。</p> <p>子供が減っているという状況はあるのですが、実は自分が子育てをしていると、子供がいる人とメインに会うので、子供が少ないという印象は受けておりません。むしろ美幌町ですと、子供をたくさん生むお母さんが多いという印象を受けます。1人、2人ではなくて、3人兄弟、4人兄弟も全然珍しくないという状況があります。</p> <p>即効的なことと言えば、今1人を育てているお母さんが、次、2人目を生みたいなって、2人育てているお母さんが3人目生みたいなのようにすることが即効性があるのではないかと思います。そこに希望が持てたら、0を1にするより、1を2、2を3にする方が現実的なのではないかと思います。なので、また婦人科の先生が来てくださって、出産は北見や網走でということになっても、最初の検診は5か月まで見ますとか、そういったことがあれば、もう1人生みたいなのと思っているお母さんはいらっしゃるのではないかと感じます。</p>
<p>山本委員</p>	<p>網走市や北見市は、開業医に5,000万や6,000万円を出しておりますが、美幌町は耳鼻科も無くなってしまいましたし、土日などの休みの当番も回らなくて津別町も入って回しておりますが、開業医が減って高齢化で跡継ぎがない方もいるため、開業医のための策をうつ予定はあるのでしょうか。</p>
<p>竹下主幹（事務局）</p>	<p>北見市や網走市と同じような規模の制度を検討しているところです。早ければ令和6年度から実施する予定です。</p>
<p>山本委員</p>	<p>ちなみに7月末の出生数はわかりますか。</p>
<p>村田会長</p>	<p>今数字は調べておりますので、その他何か、皆さんありませんか。</p> <p>美幌町の人口ビジョンという資料を前の会議でもらったと思いますが、7ページを見ると、資料で載っている限りでは1999年で218人です。今ではその3分の1となっております。</p> <p>私は民生委員をやっておりまして、民生委員の事業として、託児ボランティアというものがあります。小さい子供をお母さん方が勉強している間に、1時間半～2時間預かるというものですが、自分がやってみると1人見ているだけでも大変なのに、2人、3人だったら本当に大変だろうなと実感できます。泣き声を聞いているだけでも、2時間ずっと泣きっぱなしの子もいますし。</p>
<p>福田委員</p>	<p>お母さん方の中では3人目以降が楽になるとみんな言います。2人目までが大変だった。3人、4人、5人になってくると楽だって。</p>
<p>漆原委員</p>	<p>昔、学校の生徒が少なくなって、学校運営の効率が悪いということで、美幌町は中心校だけになってしまいました。だが、都会の方はスクールバ</p>

	<p>スミたいなもので経済的に耐えている。医療の世界でもそれをある程度導入したらどうなのかなと思います。いくら頑張ったって、田舎で医療機関は少ないと思います。それより、そことうまく何らかの方法で連携を取ることを考えた方が現実的ではないかと思います。</p>
稲場主査（事務局）	<p>先ほどの出生数ですが、令和5年4月から7月末までの出生数が35名となっており、1月から7月末までの出生数が、45人となっております。</p>
岩堀委員	<p>出生数が少ないということでしたが、何を基準に考えて少ないということでしょうか。</p>
竹下主幹（事務局）	<p>美幌町の昨年のデータと比べて少ないということです。</p>
稲場主査（事務局）	<p>全国的に見て多い、少ないということではありません。</p>
岩堀委員	<p>おそらく東京も子供は少ないです。子供のことにに関して、ニュースでよくやっておりますが、やはり美幌町だけの問題ではないと思います。社会的な問題の1つだとは思いますが、だからといって、そのままほっとけばいいかと言われたらそういうことではないと思います。</p> <p>私の感じることとしては、美幌町は非常に周りに子供が多い印象です。小学生、中学生、あとは保育園というような小さい子供が多いと感じます。</p> <p>私は去年の6月に美幌町に移住して、まだ1年ちょっとしか経っておりませんが、見た感じは子供が少ないとは感じません。逆に私は以前、東京の港区に住んでいたのですが、そちらの方が子供を見ませんでした。もちろん登下校の時間はある程度、子供が歩いているのを見ますが、それ以外で東京は、例えば外で遊んでいる子供とか公園で遊んでいる子供はまず見ないです。特に都心は。ですので、僕は美幌町に来て、全体の人口の割に、子供が多いなと思いました。ですが、実際こういう数字を見ると少ないのかなと。率直な感想です。</p>
村田会長	<p>私は新町3丁目という駅前の自治会の自治会長をやっているのですが、新町全体（3自治会）でお祭りをやると、この前参加した子供は5人～6人程度。ラジオ体操もやっているのですが、ラジオ体操も10人くらいです。今は9月18日の敬老の日に向けて、75歳以上の人が何人いるか調べたところ、今30人くらいおります。地域差はきっと町の中でもあるんだろうと思うのですが、やはり子供よりも当然老人の方が、目立っているような状況です。</p> <p>あと、皆さんからありませんか。</p>
酒井委員	<p>要望になってしまいますが、今年美幌高校の寮が溢れてしまうことがほとんど確実な状況で、その要因となっているのが、道外からの生徒というのが大きくて、倍で増えております。恐らく来年もまた増えるであろうというような見込みですが、永続的なのかと言われると、なんとも言えない状況です。</p> <p>いずれにしても、入寮できない生徒の行き場所は本当に困っていて、将来的に下宿を誰かやってくれる人がいないか。今、1件ありますけど、かなり高齢の方がやっているの、今後どうなるのかなという心配もあります。地域未来留学の、他の県の紹介とかを見ていくと、「これだけ住める場所を確保していますのでどうぞ」という話をされておりました。美幌町に来た時に、入れませんということになるのが怖いので、どうにか受け入れるところが欲しいなと思います。</p>

那須部長（事務局）	<p>ここ何年かで、クロスカントリースキーの上手な子が美幌町に残っているということを聞いておりますが、上手な子であればいつもは他の高校に行ってしまうのですが、今回は美幌町に残ってくれました。美幌高校はクロスカントリースキーが強いという発信というの、魅力の1つなのかなと感じておりますが、魅力の発信は行っていますか。</p>
酒井委員	<p>おっしゃる通りで、今年は全国レベルの子がいて、とても宣伝になっています。保護者の方からも、道内から生徒を呼びたいという意見がありますが、苦しいのですが、呼んでも住むところがありません。また、アスリートになると、今度は栄養面でのこともあります。さらに、遠征費のことになりますと、学校が小さくなってくると、お財布が小さくなります。義務教育であれば、町から遠征費を出していただいていると思うのですが、高校は道立になりますので、学校で持っているお財布で遠征費を支払うことになります。お財布が本当に小さく、去年はどうか支払うことができたのですが、今年はどうかな、これ以上増えたらどうかなというようなところがあって。募集したいとおっしゃっておりますが、たくさん募集されると厳しい状況です。本当は受け入れたいのですが困っているところです。</p>
那須部長（事務局）	<p>住む場所とそういった支援があると、自信持って呼べるということでしょうか。</p>
酒井委員	<p>例えばあのアスリートの方は、ここで住んで栄養をちゃんと提供してくれる人がいますよというところを紹介できたらいいなと思います。</p>
那須部長（事務局）	<p>指導者という部分では、問題ないのでしょうか。</p>
酒井委員	<p>道から部活の指導員として、消防署の方にやっていただいていますし、また、町からも指導者のお金も支援していただいているので、そこは本当に助けられているところです。</p>
那須部長（事務局）	<p>中学校までは義務教育というところで、町から支援がありますけど、高校になったらなくなってしまいますからね。</p>
酒井委員	<p>町から支援していただいている大会もありますが、高体連については、縛りがあって支援できないという話がありました。例えば弓道部5人チームで、全道、全国大会に出場することになっても、お金がないのでいけませんとなっても困りますので。心の中ではアスリートを呼びたいですし、アスリートが来れば、またアスリートがアスリートを呼んでというのもあるのではないかと思います。</p>
村田会長	<p>下宿等の件については、皆さんの中でそういうところがあれば紹介していただければと思います。</p>
鹿野委員	<p>移住のメニューは結構あると思うのですが、例えば新規に大卒で町外から入ってきた人は、移住扱いではないと思います。農協も苦勞して、就職について町外から、集めてきますが、町外から来て町内に住むということでいけば、美幌町は自衛隊があるからかわからないですが、家賃が高めです。 また、最近多いのは、近隣町村から採用した人が、昔は、何年間か親元</p>

	<p>から通って最終的に収入が安定したら、美幌町に住むという人がいましたが、最近はそのまますと親元から通っている人が増えてきております。それは給料を高くすればいいのではないかという話はあるかもしれませんが、そういう町外の子たちがせっかく町内に就職しても、美幌町に住めるような、サポート的なものも行政にしてもらえたら、少し人口が増えるし、美幌町に住めば、美幌町の中で結婚して、家庭を持ってというような流れもスムーズにできるのではないかなと思います、何か考えていることはありますか。</p>
<p>竹下主幹（事務局）</p>	<p>現時点では持ち合わせていないのですが、職種によって、例えば、公共交通が担い手不足であるという話をしている、それは近々制度化をしていますが、そもそも職業全般についてどうなのだろうかというのは、議論を始めているところであります。</p> <p>ゆくゆくは、そういったこともご提案の通り、美幌町は家賃が高いというのはありますので、若者向けの施策とかも考えられるのかなと思っております。役場庁内の会議の場がありますので、そこで提案はしていきたいと思っております。</p>
<p>鹿野委員</p>	<p>去年、町内に移住してきた人を今年採用して、移住してきた時にそういう制度を使わなかったのか聞くと、特定の就職先に就職しないと助成が出ないという縛りがあったという話をしていました。自分も住んでみないとどうい土地かわからないし、どういう会社かわからないという中で、助成をもらって、2年間は頑張らなくて働かなくていいというのなかなか難しいという話をされておりました。</p>
<p>那須部長（事務局）</p>	<p>最近言われるのが、外国人労働者の方が美幌町に来ておりますが、家賃が高いので外国人の方の家賃をなんとかできないのかという話は聞きます。これもまだ、具体的なものにはなっていないのですが、例えば、古くなった公営住宅ですとか教員住宅ですとか、そういったものを壊すのではなくて、そういった部分に転用することも、可能性としてはできるということも聞いておりますので、今後、具体的に検討していきたいと思えます。</p>
<p>鹿野委員</p>	<p>外国人実習生もそうですし、特定技能外国人とって、繁忙期だけ採用している比率の方が最近高くなってきていて、その期間だけ住むところがあること前提でしか採用できません。</p> <p>ただ、外国人に貸すことに抵抗がある大家さんもいらっしゃいますし、1年間丸々借りられないというこっちの事情もあるので、その辺が解決してくれれば、人口が増えるかどうかというところの議論とは少し違うかもしれませんが、住めばその分消費は増えますので、そういったところで貢献できるのではないかと思います。その辺りで案があれば、せっかく作られた農産物が、選別できなくて出荷できないという状況も出てきますので、ぜひともよろしくお願ひします。</p>
<p>村田会長</p>	<p>国勢調査で回ると、空き家は結構あるんですね。ちょっと古くなったらあんまり入ってないのが現状だから、利用できる場所はいっぱいあると思いますが、古くてもそれでもまだ美幌町は高いのかなとは思っています。</p> <p>その他、皆さん、ありますか。</p> <p>それでは、事務局より事務連絡がありますので、よろしくお願ひします。</p>

竹下主幹（事務局）	<p>本日は、たくさんご意見をいただきまして、ありがとうございます。先ほど部長からもありましたが、各担当課も含めてしっかりと意見を伝えていきたいと思っております。</p> <p>次回の会議ですが、現時点では今年度の開催予定はありません。ですが、今回あったように、企業版ふるさと納税の件や、国の予算の動向で急遽開催する可能性もございます。開催するとすれば、おそらく年明け頃になろうかと思っておりますので、その際は別途、ご案内させていただきたいと思っておりますが、現時点では、次回開催予定はございません。</p>
村田会長	<p>国は、子供に力を入れると言っておりますので、どのくらい新しい政策が出るかわかりませんが、期待するしかないと。また、その辺で色々変われば、途中で開催することもあるかもしれませんので、よろしくをお願いします。</p> <p>以上で、本日予定されている会議の内容については全て終了いたしました。皆様、大変お疲れ様でした。</p> <p><b>【閉会】</b></p>